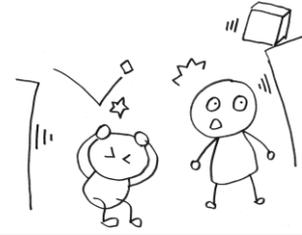


## Q7

### 「災害時の学校での対応について」



災害時、聴覚障害のある子どもは周囲の情報が音声では正しく入りにくく、被害状況、避難方法、避難場所がわからないことがあります。そこで、今回は学校での災害時の対応を紹介します。

スピーカーからの音声を補聴器や人工内耳を通して聞くと、より不明瞭になります。災害時、緊急校内放送があっても、聴覚障害のある子どもはとても聞こえにくいです。避難訓練の時から、誰が非常を伝えるのか、誰と一緒に行動するのか等の対策を子どもと話し合うと良いでしょう。

#### ↓ 聾学校での災害時の工夫

インジケーター		校内放送とともに教室や廊下に設置されたインジケーターの非常ランプが点灯します。赤く点灯することで、放送が聞こえなくても、目で見ても災害や事件などの緊急事態が起きていることを確認することができます。
各緊急事態を知らせるカード		地震や不審者、火災などその時に何が起きているかを知らせる為のカードを各教室や廊下に設置しています。このカードがあることで、トイレに入っている児童生徒にも、ドアの隙間からカードを差し込んで知らせることができます。 火災のカードにはホワイトボードとペンをつけておき、どこで火災が起きているかを知らせることができるようになっています。